

第2次石岡市男女共同参画基本計画後期実施計画（素案）に対する☒ブリックコメントの実施結果☒

資料1

【回答区分】ア：計画案に意見を反映するもの イ：意見の趣旨を踏まえて取組を推進するもの ウ：今後の参考とするもの

No.	意見内容(要約)	回答区分	回答(案)	修正案	関連項目
1	「若い世代ほど男女共同参画意識が浸透している傾向であり、今後も継続した取組が重要となります。」なせ、若い世代ほど意識が浸透している傾向に対して、継続した取組が必要なのか、理由を教えてください。	ウ	御意見ありがとうございます。これから将来を担っていく若い世代に男女共同参画に対する意識が浸透している傾向が今後も維持続けられることが重要だと考えます。そのため、継続して取り組んでい必要があると考えます。		3 前期実施計画の評価 (2)基本目標ごとの状況 基本目標1あらゆる分野での女性の活躍促進
2	「男は仕事、女は家庭」という考え方(固定的役割分担意識)に賛成しない市民の割合が、目標値に届けていない。「賛成」という考え方・思想は、個々の自由であると思うが、この考え方の割合に対して、数値目標を定める目的はなんなのかな？ 「反対」と答える人がこの目標を見た時に、「自分の思想・考え方は、市の目標達成に反して自由なのか?」、疎外感を覚えてしまうようにも感じた。考え方は個々の自由だし、考え方と、実際の行動は、分けて考えた方がよいのではないかなと思う。	ウ	御意見ありがとうございます。個人の考え方や思想は、個々の自由であると考えております。第2次石岡市男女共同参画基本計画では、あらゆる分野での女性の活躍促進を基本目標としております。女性活躍を阻害する要因として考えられる「男は仕事、女は家庭」という性別による固定的な役割分担意識や男性中心の社会制度・慣行を見直していくことが重要と考えております。そのため、市民に対する男女共同参画の理念や目的の周知、男女共同参画社会形成の意識の啓発活動に取り組む必要があり、数値目標として定めているものです。	第5次男女共同参画基本計画112頁他もご参照ください。 https://www.gender.go.jp/about/danjo/basic_plans/5th/pdf/2-10.pdf	基本目標1 成果指標 「男は仕事、女は家庭」という考え方(固定的役割分担意識)に賛成しない市民の割合
3	「男女がともに働きやすい就業環境の整備」「生涯にわたる男女の健康支援」 今回、性的少数者について新たに明記される中で、男性・女性どちらも自認していない市民が、疎外されてしまう文言のように感じた。男性・女性・またその他の性・全ての人を、包括するような名称への変更について、検討していただきたい。	ウ	御意見ありがとうございます。ご意見は、第2次石岡市男女共同参画基本計画の基本目標、基本施策の内容に関することとなります。今回の後期実施計画の内容は、第2次石岡市男女共同参画基本計画の基本目標、基本施策に基づき策定する計画となります。		基本目標2「男女がともに働きやすい就業環境の整備」 基本目標4基本施策「生涯にわたる男女の健康支援」
4	「市民に向けて、性的少数者に対する正しい理解と支援を広めるための取組が求められますが、性的少数者の支援者に対する言葉かけのよう聞こえた。これだけではなく、LGBTQ当事者に対する支援や、働きかけにいて、具体的に明記していただきたいと思う。(例えば、当事者の声をきく、当事者に対する調査を実施する、ニーズを把握する、当事者が市の窓口相談できる体制をとる、実際に、市内施設のトイレの現状や課題、LGBTQ当事者に対する職場の対応等、石岡市における様々な課題が、明らかになると思う。)	ア	御意見ありがとうございます。市民意識調査において、LGBTQの言葉の意味を知っている市民の割合は58.6%でした。33.1%は知らないと回答しています。言葉の意味は知っていても、実際の当事者への対応や理解を深めることが必要だと考えます。そのため、表現を修正します。	今回の性的マイノリティを新たな視点として盛り込みました。まずは、性的マイノリティに対する市民の理解の促進に向けた取組と当事者への支援が必要と考えます。 次のとおり計画を修正します。 性的少数者(LGBTQ)の方の多くは、周りの理解不足から、社会生活の様々な場面で生きづらさを抱えている場合があります。市民に対し多様な性に対する正しい理解を広めるための取組と多様な性に配慮した取組が求められます。	6新たな視点の導入 (1)性的少数者(LGBTQ)に関する取組
5	「夫婦・祖父母等が協力して」。茨城県では、パートナーシップ宣誓制度が進められており、今後、同性のパートナーシップ関係の元で子どもをもつ家庭も、想定される。「夫婦」という言葉についても、検討していただきたい。	ア	御意見ありがとうございます。夫婦・祖父母等に限らず、子育ては家族の協力が不可欠なことから、「はじめて赤ちゃんを迎える方やその家族が協力して」に修正します。	はじめてをとる「赤ちゃんを迎える方やその家族が協力して」に修正します。	基本目標3 基本施策①男性の家事・育児等への参加促進 事業名 パパ・ママスクールへの参加促進
6	「女性の視点を取り入れた避難所運営」 「性的少数者の視点」についても取り入れることを、一つ検討していただきたい。(避難所のトイレ相談等)	イ	御意見ありがとうございます。避難所は、避難してきた方たちが一定期間過ごす場所となりますので、災害時に弱者となりがちな、女性、子ども、高齢者、障がい者、性的少数者に焦点を合わせた避難所運営が重要と考えます。		基本目標4 基本施策③男女共同参画の視点にたった防災体制の確立 事業名 女性の視点を取り入れた避難所運営
7	「偏見をなくす」偏見はとても幅広い言葉。偏見も個々の価値観であり、偏見をなくす必要はないのかなとも感じる。偏見をなくすというよりも、差別や、当事者が傷ついてしまう言動をなくすといった、文言の方が良いのではないかな。	ア	御意見ありがとうございます。多様な性について、市民の理解を深め、互いに尊重する社会を目指すことが必要であると考えます。そのため、表現を修正します。	案①市民や市内事業者、市職員に向けたセミナー・研修等を開催し、性の多様性への理解の促進に向けた啓発を進めます。 市民一人ひとりが多様な性を理解し、誰もが生きやすい社会を目指します。	基本目標4 基本施策④様々な生活上の困難や課題を抱える方への支援 事業名 LGBTQの理解促進等
8	「申請書類等における性別欄の記載見直し等」LGBTQに関する具体的な施策が、一例のみしか出されておらず、「等」で締めくくられてしまっており、具体的な施策内容が、よく読み取れなかった。「記載見直し」にかかわらず、窓口での対応のあり方、市内施設のトイレや更衣室、相談体制等、もう少し、具体的な施策について、広げていただきたい。	ア	御意見ありがとうございます。性的少数者への配慮した取組を検討するにあたっては、当事者が困っていることなどニーズの把握が必要と考えます。そのため、表現を変更します。	次のとおり計画を修正します。 ニーズの把握を行い、申請書類等の記載方法や誰もが利用しやすいトイレへの見直しなど多様な性に配慮した取組を検討します。	基本目標4 基本施策④様々な生活上の困難や課題を抱える方への支援 事業名 LGBTQに対する配慮促進
9	「LGBTQの概念が一般化しつつあり、」「一般化」の言葉は、今まで特殊だったのかと誤解を生みかねないように思う。	ア	御意見ありがとうございます。市民意識調査において、LGBTQの言葉の意味を知っている市民の割合が58.6%でしたので、表現を変更します。	次のとおり計画を修正します。 LGBTQの概念が広まりつつありますが、	1計画策定の目的
10	「リスニング機会の提供を促進し、」は、「リスニングの研修の機会の提供を」と思う。	ウ	御意見ありがとうございます。リスニング(学び直し)には、研修以外のやり方もあると考えます。		6新たな視点の導入 (2)災害等による危機においての女性を取り巻く状況に対応できる取組